

問1 日本からアルゼンチンのブエノスアイレスへ一月に旅行に行く際、現地の気候を考慮した準備として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年

石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 南半球に位置し日本とは季節が逆転するため、現地の夏に合わせた半袖などの軽装を準備する。 | 2. 南半球では一月が最も寒くなる時期であるため、日本の冬と同様に厚手のコートなどの防寒着を準備する。 | 3. 高緯度の冷帯(亜寒帯)に位置するため、一月でも氷点下になることを想定して本格的な冬装備を準備する。 | 4. 赤道に近い熱帯の都市であるため、季節の変化は考えず、激しい雨に備えた雨具を中心に準備する。 |
|--|---|--|--|

問2 北極圏などの高緯度地域における自然環境と人々の生活の特色について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 一年を通じて温暖であり、午後に激しい雨を伴うスコールが発生するため、移動には小型のボートが多用される。 | 2. 日照時間の変化がほとんどないため、伝統的な犬ぞりが現在でも唯一の移動手段として厳格に守られている。 | 3. 夏季には太陽が沈まない白夜が見られるなど、低緯度地域に比べて季節による日照時間の変化が極めて大きい。 | 4. 季節風(モンスーン)の影響を強く受けるため、夏は高温多湿になり、冬の移動には主にラクダが利用される。 |
|--|--|---|---|

問3 高緯度に位置するシベリア地方で見られる、夏でも溶けることなく、二年以上連続して凍結した状態にある土壌を何といいますか。 (2021年

沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. ツンドラ | 2. 永久凍土 | 3. 泥炭 | 4. ボドゾル |
|---------|---------|-------|---------|

問4 北緯40度以北のヨーロッパ西海岸付近では、北海道よりも高い緯度に位置しながら、冬の気温が北海道よりも高くなる地点が多くあります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 寒流の影響により大気が安定し、夏に強い日差しが降り注ぐ一方で冬は海からの熱が放出されるため。 | 2. 赤道付近で発生した上昇気流が、中緯度高圧帯としてこの地域を年間を通じて覆うため。 | 3. 大陸内部から吹き出す乾燥した季節風が、山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし気温を上げるため。 | 4. 低緯度から流れる暖流である北大西洋海流の上を、偏西風が通って温かい空気を運んでくるため。 |
|---|---|---|---|

問5 インドネシアなどの赤道に近い低緯度地域に位置する島嶼部では、伝統的に「高床式住居」と呼ばれる家屋が見られます。この住居が、床を高く作っている主な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 乾燥した気候において、日干しレンガの厚い壁で外の熱気を遮断するため | 2. 羊毛のフェルトを壁に用いることで、移動がしやすい構造にするため。 | 3. 風通しを良くすることで、現地の厳しい湿気や暑さを和らげるため。 | 4. 針葉樹の丸太を積み重ねることで、冬の厳しい寒さから身を守るため。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|

問6 ある都市の気象データにおいて、最も気温が高い月でも約18度と涼しく、最も低い月でも約5度と比較的温暖であり、さらに毎月の降水量が50mmから80mm程度でほぼ一定している場合、この気候区分として適切な名称はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. ツンドラ気候 | 2. 温暖湿潤気候 | 3. 西岸海洋性気候 | 4. 地中海性気候 |
|-----------|-----------|------------|-----------|

問7 2019年の世界生産統計でアメリカ合衆国、中国、ブラジルが上位3か国となっており、近年では家畜の飼料やバイオ燃料の原料としての需要も急速に高まっている農産物はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-----------|------|---------|
| 1. 綿花 | 2. とうもろこし | 3. 茶 | 4. オリーブ |
|-------|-----------|------|---------|

問8 一九七〇年と二〇二〇年の世界の平均寿命を比較した統計によると、サハラ以南のアフリカは、一九七〇年時点の四十五歳から、二〇二〇年には六十二歳へと大きく改善しました。この事実と、他の地域との比較に基づいた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. サハラ以南のアフリカの数値が改善したのは、一九七〇年時点でこの地域の平均寿命が世界で最も高かったためである。 | 2. サハラ以南のアフリカのみが特例的に寿命を延ばしており、世界全体としては平均寿命に大きな変化は見られない。 | 3. サハラ以南のアフリカは数値が大幅に改善したが、世界全体の中で比較すると、依然として最も平均寿命が低い地域である。 | 4. サハラ以南のアフリカは大幅な改善を見せた結果、二〇二〇年時点では南アジアやラテンアメリカの平均寿命を追い抜いている。 |
|---|---|---|---|

問9 赤道に近いインドネシアのジャカルタの統計において、一月から十二月までのすべての月で平均気温が二十七度から二十九度の範囲にあり、年間を通じて極めて気温の変化が少ないというデータがあります。このような気候の特徴を背景に行われる稲作の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 冷涼な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を遅らせる抑制栽培が行われる。 | 2. 一年の半分が寒冷なため、育苗期間を短縮して夏の間だけ栽培する単作が行われる。 | 3. 季節風の影響で生じる雨季と乾季を使い分け、稲と小麦を交互に育てる二毛作が行われる。 | 4. 常に高温である気候条件を活かし、同じ耕地で年に二回収穫を行う二期作が行われる。 |
|--|---|--|--|

問10 世界的な二酸化炭素排出量の変化と、それに伴う環境問題について述べた次の文のうち、正しいものを選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 1. 二酸化炭素の排出量は、1990年と比較して現在のアフリカ諸国が世界で最も多い割合を占めている | 2. 世界全体の二酸化炭素排出量は、20世紀末から減少傾向に転じている | 3. アメリカ合衆国などの先進国を含め、すべての国で1人あたりの二酸化炭素排出量が増加し続けている | 4. 21世紀以降、中国やインドなどの新興国では、経済成長に伴い二酸化炭素排出量が急増している |
|---|-------------------------------------|---|---|

問11 熱帯地方で行われている焼畑農業において、数年間イモ類などの作物を栽培した後に、別の場所へ移動して同様の作業を繰り返す理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 季節ごとの降水量の変化が激しく、雨季と乾季に合わせて灌漑施設がある場所へ移動する必要があるため。 | 2. 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。 | 3. 家畜の飼料となる牧草を確保するために、元の森林を永久的な放牧地へと転換し続ける必要があるため。 | 4. バナナやカカオなどの輸出用商品作物を大規模に栽培するために、より広大な土地が必要となるため。 |
|---|--|--|---|

問12 乾燥した草原が広がる中央アジアの地域において、人々が家畜とともに広範囲を移動しながら生活を送っている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 特定の領土を持たないことで、周辺諸国との紛争に巻き込まれるリスクを回避するため | 2. 家畜を特定の場所に固定すると、周辺の土壌に含まれる塩分が家畜の健康を害するから | 3. 年間を通じて降水量が少なく、同じ場所では家畜が食べる牧草を確保し続けることが困難だから | 4. 標高の高い山地とふもととの平地の間を、季節による気温の変化に合わせて往復するため |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南半球に位置し日本とは季節が逆転するため、現地の夏に合わせた半袖などの軽装を準備する。	アルゼンチンは南半球に位置するため、北半球にある日本とは季節が正反対になります。日本で最も寒い時期の一つである一月は、南半球では太陽の高度が最も高くなる時期にあたり、季節は夏となります。したがって、一月のブエノスアイレスを訪れる際は、夏の暑さに備えた服装が必要となります。また、ブエノスアイレスは温帯に属しており、四季の変化が明確です。
問2	答え 3 夏季には太陽が沈まない白夜が見られるなど、低緯度地域に比べて季節による日照時間の変化が極めて大きい。	高緯度地域は低緯度（赤道付近）に比べて、季節による太陽の高さや日照時間の変動が激しいという特徴があります。夏には白夜、冬には太陽が昇らない極夜といった極端な環境が見られます。これに合わせて、雪上や氷上を効率よく移動できるスノーモービルが導入されるなど、厳しい自然条件に対応した独自の生活文化が形成されています。熱帯で見られるスコールや、東アジアなどで顕著なモンスーンの影響は受けません。
問3	答え 2 永久凍土	シベリアやアラスカ、カナダ北部などに見られる一年中凍りついた地面は永久凍土と呼ばれます。この地域で生活する人々は、地面の凍結や融解に合わせて建築方法やインフラ整備を工夫しています。近年では地球温暖化の影響でこの永久凍土が溶け、地盤沈下や建物の崩壊が深刻な問題となっています。選択肢にある「ポドゾル」は冷帯に見られる灰白色の土壌、「ツンドラ」は樹木が育たない寒冷な平原を指す言葉です。
問4	答え 4 低緯度から流れる暖流である北大西洋海流の上を、偏西風が通って温かい空気を運んでくるため。	高緯度のわりに冬が温暖な理由は、海流と風の相互作用にあります。大西洋を北上する暖流（北大西洋海流）は、周囲の海水の温度を高く保ちます。その海上の温かい空気を、一年中西から吹き込む偏西風がヨーロッパ大陸へと運び込むため、冬でも冷え込みが抑えられます。この仕組みが、ロンドンやパリなどが高い緯度でありながら過ごしやすい気温を保てる要因です。
問5	答え 3 風通しを良くすることで、現地の厳しい湿気や暑さを和らげるため。	赤道付近の熱帯地域は、一年を通じて高温多湿な気候が特徴です。このような環境では、住居内に熱気や湿気がこもるのを防ぐ必要があります。高床式住居は、床を地面から離して空間を作ることで風通しを確保し、生活空間を涼しく保つ工夫が施されています。また、激しい雨による浸水や、地面からの害虫・害獣の侵入を防ぐという利点もあります。
問6	答え 3 西岸海洋性気候	夏が涼しく冬が温暖で、年間の気温差（年較差）が小さいこと、そして一年を通じて降水量の差が小さく安定していることは、西岸海洋性気候の典型的な特徴です。地中海性気候のように夏に乾燥したり、温暖湿潤気候のように夏に高温多湿になったりすることはありません。
問7	答え 2 とうもろこし	とうもろこしはアメリカ合衆国の中西部（コーンベルト）などで大規模に生産されており、世界で最も生産量が多い穀物の一つです。人口増加に伴う食肉需要の拡大による飼料用としての利用に加え、環境負荷の低減を目的としたバイオエタノールの原料としての重要性も増えています。
問8	答え 3 サハラ以南のアフリカは数値が大幅に改善したが、世界全体の中で比較すると、依然として最も平均寿命が低い地域である。	サハラ以南のアフリカでは、乳幼児死亡率の低下や感染症対策の普及により、平均寿命は四十五歳から六十二歳へと大きく向上しました。しかし、ヨーロッパや東アジア、北米などの他の地域も同様、あるいはそれ以上の水準で寿命を延ばしており、依然としてサハラ以南のアフリカは世界の中で最も平均寿命が短い地域に分類されます。統計データを読み取る際は、数値の「改善」と「相対的な順位」の両方に注目することが重要です。
問9	答え 4 常に高温である気候条件を活かし、同じ耕地で年に二回収穫を行う二期作が行われる。	稲の生育には高い気温が必要ですが、赤道に近い低緯度地域では一年中気温が一定して高いため、季節を問わず稲を育てることができます。この気候的利点を活用することで、年に二回（地域によっては三回）の収穫が可能となります。一方で、日本のような温帯地域では冬の気温が低いため、一般的には年に一回の収穫（単作）となります。
問10	答え 4 21世紀以降、中国やインドなどの新興国では、経済成長に伴い二酸化炭素排出量が急増している	中国やインドといった新興国では、工業化の進展や生活水準の向上により、二酸化炭素の排出量が短期間で数倍に増加しました。一方、すべての国で排出量が増えているわけではなく、省エネ技術の普及などにより、先進国の中には1人あたりの排出量が減少傾向にある国も見られます。したがって、特定の国々における排出量の増加が世界全体の課題となっています。
問11	答え 2 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。	焼畑農業は、化学肥料を用いずに灰の養分のみに頼る農法であるため、栽培を続けるとすぐに土壌の肥沃度が低下します。そのため、収穫量が落ちた段階で別の未開墾地へ移動し、元の土地は数十年かけて森林が再生するのを待つという仕組みになっています。近年では人口増加により、この回復サイクルが短くなっていることが環境上の課題となっています。
問12	答え 3 年間を通じて降水量が少なく、同じ場所では家畜が食べる牧草を確保し続けることが困難だから	乾燥帯では樹木が育たないほど雨が少なく、牧草の成長も限定的です。一箇所に留まって家畜を飼育するとすぐに草が食べ尽くされてしまうため、自然環境に合わせて移動を繰り返す「遊牧」が行われています。なお、選択肢にある「標高の高い場所とふもとを往復する」形態は、ヨーロッパのアルプス山脈などで見られる「移牧」の説明です。